

令和3年度事業報告

1 令和3年度事業報告

当財団は、香川県から指定管理者の指定を受けた公渚森林公園及び香川用水記念公園の管理運営を行うとともに、緑の募金や森林の整備及び緑化の推進、さらに野生傷病鳥獣保護事業などに取り組んだ。

なお、当財団が公益法人へ移行して8年目であり、上記の両公園では指定管理者制度が導入されて以降、其々4期目（令和3年度～令和7年度）の初年度である。

【1】 森林公園管理事業

県民の心身の健康の増進と、森林及び緑化に関する知識の向上等に寄与する目的で整備された公渚森林公園（面積93ha）の樹木、花壇等の管理をはじめ、公園内の体験学習施設（森林学習展示館、見本園、花木園等）、森林レクリエーション施設（芝生広場、キャンプ場、炊飯場、チビッコ広場やアスレチック広場の遊具等）、さらには二子山展望台及び園内の休憩所などの各種施設について、県民が安全で快適に利用できるよう適切な管理を行った。

1 利用促進の実施

ア 当財団のHPやタウン誌、旅行雑誌等にサクラの開花状況、公園の施設などの情報提供を行った。

イ サルビア等の草花を播種・育成し、チューリップ花壇等に植栽するとともに、緑化の推進を図るため、来園者に球根等を配った。

ウ 園内案内板をはじめ森林のギャラリーなどの園内施設や仮設の案内・紹介掲示板を活用して、花木等の開花情報に加え、樹木等の四季の変化の観察等について紹介するなど、森林公園として特徴のある情報発信に努めた。

エ 園内案内図を利用し易くするため、裏面に施設情報やウォーキングコースを記載しての配布を行った。

<令和3年度入園者数>

月	入園者数（人）	累計（人）	備考
4	51,250	51,250	ソメイヨシノ
5	22,210	73,460	利用自粛15日～31日
6	25,630	99,090	利用自粛20日までの土日
7	30,440	129,530	
8	11,680	141,210	利用自粛14日～31日
9	0	141,210	利用自粛1日～30日
10	52,880	194,090	菊花展
11	52,100	246,190	菊花展
12	30,500	276,690	
1	33,210	309,900	
2	35,030	344,930	
3	63,410	408,340	ソメイヨシノ

※令和2年度入園者数 493,320人

開園以来の入園者数 13,875,430人

2 環境に配慮した取り組み

来園者が手軽に体験できるよう、ツル性植物を利用した「緑のトンネル」「緑のカーテン」をつくり、温度の違いの体験を通じて、家庭でも実践できるエコ対策の普及啓発を行った。

<緑のカーテン種類・規模>

トケイソウのトンネル(チビッコ広場) 高さ1.9m×幅1.5m×延長10m

アサガオのカーテン(憩いの家前) 高さ1m×延長10m

3 自主事業の実施

森林公園の利用促進を図るため、次のとおり自主事業を実施した。

(1) 家庭緑化教室の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、家庭緑化教室は5月～10月及び2月の7回を休止し、5回開催した。

- a 実施日 令和3年4月、11月、12月、令和4年1月、3月
- b 参加者 25名
- c 参加料 8,000円/人

(2) 夏休みクラフト教室

ア 夏休み親子木工教室の開催

県産木材を活用して親子で木工作品づくりに取り組む木工教室を野外ドーム周辺で開催した。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、野外で秋に開催した)

- a 実施日 令和3年10月31日
- b 参加者 40名
- c 参加料 無料

イ 草木染め教室の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、草木染めの染色材料となるクチナシ、ビワ、クサギなどを野外で観察する教室を春に開催した。

- a 実施日 令和3年4月30日
- b 参加者 40名
- c 参加料 無料

(3) きのこと栽培体験教室の開催

シイタケやヒラタケ、ナメコなど身近な食用キノコを栽培するための原木となるクヌギ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹を観察し、クヌギの苗木を植樹するイベントを開催した。

- a 実施日 令和4年3月19日
- b 参加者 30名
- c 参加料 無料

(4) 炭焼き体験教室の開催

炭焼き窯は小さな入口が1つで、換気も困難であり、窯の中が密閉状態に近くなるために、炭焼きの材料となる竹を伐採する野外行事を開催した。

- a 実施時期 令和3年11月20日
- b 参加者 30名
- c 参加料 無料

4 展示会等の実施

(1) さくらまつり

4月の第1日曜日に東植田校区コミュニティー協議会等が開催する予定であった「さくらまつり」は中止になったが、ソメイヨシノの開花に合わせて、警察との保安に関する事前協議の実施や車両の通行等の安全対策を講じるとともに、園内清掃等にも努めた。

(2) 菊花展

家庭緑化教室の受講者OB等が会員である公渕菊花同好会が開催した菊花展（10月15日～11月14日）では、当財団としての出展のほか、期間中の展示品への灌水や資材等の保管等に協力した。

(3) 展示会など

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、野外又は森林のギャラリーの屋外デッキにおいて、昆虫をテーマにした写真展を開催するとともに、二子山や森林を活かすための展示・イベント（森林IKASU（活かす）イベント等）、記念植樹の実施やジュニア「森の案内人」の育成を図るなど、身近で親しみやすい森林公園となるように努めた。

- ・野外写真展 4月～5月、10月～11月
- ・二子山の紹介展示 7～8月、10～11月
- ・森林を活かす（森林IKASU）イベント 4月30日、10月31日
- ・記念植樹 11月22日、2月28日、3月4日、3月19日、3月29日
- ・ジュニア「森の案内人」育成 4月30日、10月31日

(4) 公渕森林公園桜並木管理台帳作成業務

香川県から受託した公渕森林公園桜並木管理台帳作成業務を実施した。

【2】 野生傷病鳥獣保護事業

野生の傷病鳥獣の保護、応急処置、一時収容及びリハビリを行い、再び自然界に復帰させるために設置された香川県野生鳥獣保護センターにおいて、傷病鳥獣の受付等の業務を行うとともに鳥獣保護に関する普及啓発を図った。

1 保護等の状況

保護・収容状況			放野等の状況		3年度末 センター収容数
センター 既収容数	3年度 保護数	総数	放野数	死亡数	
12	73	85	18	57	10

2 診察・保護相談の状況

- (1) 診察件数 5件
- (2) 保護相談件数 2件

【3】 緑化推進事業

みどり豊かな県土づくりを推進するため、県民の緑化意識を高め、県民総参加による森林資源の活用及び緑化の推進を図ることを目的に、香川県からの委託及び公益社団法人国土緑化推進機構（以下「国土緑推」という。）の助成を受け、次の事業を実施した。

1 緑化思想普及啓発事業の実施

(1) 緑化コンクールの実施

緑化の重要性について児童・生徒の理解を深めるとともに、県民の緑化思想の高揚を図るため、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象に、緑化ポスター原画・書道コンクールを実施した。（作品募集期間：8月23日～9月6日）

- 応募作品の審査については、9月14日（書道）・15日（緑化ポスター原画）に実施し、次のとおり入賞作品を選定した。

【ポスター原画の部】

区分	応募校数	応募点数	入賞点数			
			特選	入選	佳作	合計
小学校	48	606	6	18	47	71
中学校	23	112	3	9	16	28
高等学校	2	45	3	9	9	21
特別支援学校	3	32	1	3	6	10
合計	76	795	13	39	78	130

【書道の部】

区分	応募校数	応募点数	入賞点数			
			特選	入選	佳作	合計
小学校	90	3,315	8	27	52	87
中学校	40	558	3	9	18	30
高等学校	5	40	1	3	6	10
特別支援学校	3	45	0	1	2	3
合計	138	3,958	12	40	78	130

- このうち、入賞作品（特選、入選）104点を、高松シンボルタワータワー棟3F かがわプラザ「かがわの森アンテナショップ」において、令和3年10月5日（火）～10月28日（木）の間、展示した。また、特選受賞作品については、財団のホームページに掲載するとともに四国新聞に掲載された。

- 令和4年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集への応募

緑化ポスター原画コンクールの特選受賞作品（13点）を公益社団法人国土緑化推進機構が主催する令和4年度国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールに応募し、次の作品が入賞した。

・小学校の部

入選（国土緑化推進機構理事長賞）

高松市立香南小学校 5年 久保里海さん

高松市立中央小学校 6年 竹原秀一さん

・高等学校の部

入選（国土緑化推進機構理事長賞）

香川県立高松工芸高等学校 2年 佐藤愛由美さん

(2) 緑の少年団の育成強化

緑の少年団の育成や活動を強化するため、県内小・中学校校長会に資料を配布したほか、学校訪問などの推進活動を行い、新たに丸亀市立飯山南小学校他7校で緑の少年団が設立された。また、緑の少年団の活動を支援するため、緑の少年団活動助成金(100千円/団)を24団に対して交付した。

(3) どんぐり銀行活動の実施

自然とふれあう機会の少なくなった子どもたちに、どんぐりを拾うことを通して「森に親しみ、森と友達になる。」ことを目的とし、どんぐり銀行を開設してどんぐり預金の受け入れや苗木の払い戻しを行った。

<どんぐり銀行>

- ・受付期間 令和3年10月～12月
- ・預金者 2,684人(うち新規預金者 1,069人)
- ・臨時支店の開設 8か所 計15回(国営讃岐まんのう公園他) 預金者 838人
- ・苗木払い戻し 166本/69人(令和4年3月13日 どんぐりランド他3か所)

2 森づくり活動支援事業

(1) 森林づくり体験イベントの開催

国土緑推の助成を受け「緑と水の森林ファンド事業」により、森林・緑・水に対する県民の認識を深めるため、緑の少年団など小学生を対象にした環境、林業、森林に関する「謎解きイベント」を公測森林公園で開催した。

なお、7月に予定していた早明浦交流の森づくりプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(2) 森林及び緑化に関する調査・研究等

県民総参加による森林資源の活用や緑化の推進を図るため、里山整備を行うボランティア団体等に緑の募金助成ガイドや育樹運動ポスター等の情報提供を行った。

国土緑推の「学校環境緑化モデル事業」に三木町立氷上小学校、綾川町立昭和小学校を推薦し、両校は助成金(500千円/校)をもとに校内の高木の剪定や植樹を行った。また、国土緑推が5年ごとに実施している学校林の実施調査に協力をした。

【4】 香川用水記念公園管理事業

香川用水の歴史と恩恵を永く後世に伝えるとともに、県民に憩いの場を提供する目的で整備された香川用水記念公園の施設を、適切かつ効率的に管理運営するため、香川県から指定管理者の指定を受けて次の事業を実施した。

なお、毎年8月第一日曜日に地元実行委員会との共催で実施し、多くの人を訪れる「水辺の納涼祭」については、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

1 管理運営業務

記念公園（面積6ha）の樹木、花木、芝生等の管理をはじめ、公園内の水とのふれあい施設（せせらぎの川、じゃぶじゃぶ池、遊具等）の点検整備や補修、さらには水の資料館の施設や展示資料の維持管理に努め、安全で快適な利用に供するため適切な管理を行った。

また、小・中学生など団体見学者への香川用水東西分水工の案内や水の資料館展示資料等の説明を行い、「香川用水への理解」と「水の大切さ」への啓発に努めた。

(1) 令和3年度入園者数 59,810人

入園者の状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

区 分		校(団体)数	入園者数(人)	比率(%)
団 体	保育所・幼稚園	4	113	0.2
	小 学 校	48	3,329	5.6
	中 学 校	5	335	0.5
	行政機関	5	38	0.1
	その他団体	67	936	1.5
	計	129	4,751	7.9
個 人			55,059	92.1
合計		129	59,810	100.0

(2) 令和2年度入園者数 58,205人

(3) 開園以来の入園者数 1,614,360人 (H9年度～R3年度 25年間)

2 自主事業

(1) 「わたしたちのくらしと水を学ぼう」夏休み 親子体験教室の開催

水が最も多く使われる夏休み期間中に、小学校高学年のお子さんとその保護者の皆さんに、香川県の水事情や香川用水等について、公園の施設見学を通して学んでもらい、水の大切さへの関心を深めてもらうため実施した。

実施日：夏休み期間中 2回（7月31日、8月8日）

参加者：15組 36名

※8月11日、8月14日については新型コロナウイルス感染急拡大のため中止。

(2) 「わたしたちのくらしと水」校外学習の開催

県内の小学校4年生等の学級単位を対象にした水に関する環境学習会で、複数の小学校からの参加希望があったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、止むを得ず中止した。

(3) パネル展の実施

国・水資源機構・県等8団体のほか、水源地域の徳島県三好市及び高知県土佐町から提供されたパネルを活用し、水の資料館1階企画展示室と3階休憩コーナーにて、年間を通したパネル展を実施した。また、地域の水の歴史的背景に触れることができる民話パネルを展示した。

(4) 「君も挑戦！香川用水博士」クイズラリーの実施

公園を訪れた子どもたちが水に関心を持つよう常時実施した。

参加者 161名

【5】 緑の募金事業

森林及び樹木の果たしている役割の重要性について、県民の理解と関心を深めていただき、緑を守り育てる具体的な緑化運動に結び付けるため、「緑の募金強調期間」を設定するなどして、コロナ禍の中、募金運動を実施した。

1 緑の募金運動の推進

緑の募金目標額を1,100万円として、企業募金、職域募金、家庭募金のほか小学校・中学校等の学校募金をお願いした結果、コロナ禍にも関わらず多くの方々に御協力をいただき、募金額は11,056,843円となった。

(1) 募金活動の実施

<緑の募金強調期間>

春期：令和3年2月15日～令和3年5月31日

秋期：令和3年9月1日～令和3年10月31日

- ①小・中学校校長会を通じた緑化推進資料の配布 5月 7日
 - ②令和3年度第1回運営協議会（2年度事業報告及び収支決算） 5月21日
 - ③令和3年秋全国緑化キャンペーン緑の羽根着用依頼（県庁・市役所・町役場） 8月11日
 - ④全国緑化推進委員会連絡協議会総会（Web会議） 8月27日
 - ⑤令和3年秋の「緑の募金」協力依頼文書発送（学校・企業・職域他） 9月 1日
 - ⑥緑の募金 学校・企業・職域訪問（延べ9日間 24か所） 10月 8日
～2月9日
 - ⑦中国四国地区緑化推進協議会（Web会議） 10月21日
 - ⑧緑の募金 感謝状贈呈式（県庁） 10月28日
 - ⑨全国緑化推進委員会連絡協議会総会（Web会議） 12月14日
 - ⑩令和4年春全国緑化キャンペーン緑の羽根着用依頼（県庁・市役所・町役場） 1月17日
 - ⑪令和4年春の「緑の募金」協力依頼文書発送（学校・企業・職域他） 2月 1日
 - ⑫令和3年度第2回運営協議会 3月 7日
- （3年度収支予算の変更 4年度事業計画 書面決議）

(2) 緑の募金の実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）（単位：件・円）

区分	令和3年度		令和2年度		募金額 増減	
	件数	募金額	件数	募金額		
学校募金	小学校	30	721,777	18	501,597	220,180
	中学校	2	28,500	3	41,856	△ 13,356
	高等学校	2	109,000	3	132,216	△ 23,216
	特別支援学校	1	3,000	1	7,000	△ 4,000
	幼稚園	6	64,100	6	51,100	13,000
	保育所	12	74,400	15	56,550	17,850
	小計	53	1,000,777	46	790,319	210,458
職域募金	217	2,749,972	215	2,808,110	△ 58,138	
企業募金	262	6,110,069	270	4,236,493	1,873,576	
家庭募金	265	1,144,847	268	1,164,253	△ 19,406	
街頭・窓口募金他	14	51,178	45	186,069	△ 134,891	
計	811	11,056,843	844	9,185,244	1,871,599	

2 「緑の募金」寄附金による緑化の推進

「緑の募金」による寄附金を用いて、潤いと安らぎに満ちたみどり豊かな環境の創造に寄与するため、次の事業を実施した。

(1) 学校環境緑化事業交付金

学校環境緑化事業交付金交付要綱に基づき、学校敷地内の緑化整備(花苗の植栽等)を行った16校(1幼稚園 15小学校)に対して、前年度の学校募金額の6割を上限に交付金(306,362円)を交付した。

<交付先(交付額 円)>

一宮幼稚園(5,404) 亀阜小学校(22,020) 栗林小学校(58,731) 木太南小学校(8,590)
林小学校(46,900) 三溪小学校(13,001) 多肥小学校(34,380) 東植田小学校(2,080)
城西小学校(34,560) 飯野小学校(11,760) 岡田小学校(15,000) 府中小学校(4,560)
志渡小学校(20,100) 池田小学校(1,620) 田中小学校(8,756) 白山小学校(18,900)

(2) 緑の募金事業助成金

緑の募金事業助成金交付要綱に基づき、緑化の推進及び森林の整備に関する事業を行った団体に対して、その事業に要する経費の一部を助成した。(単位:円)

事業名	交付先	交付額	事業内容
森林づくり事業	森づくり香川・林援塾、東かがわ市北山森林ボランティア会、魚見山森づくりの会他(10件)	1,586,092	檜林の間伐・除伐 山桜・檜・椿の植樹 登山道の草刈り 遊歩道の整備 等
交流の森林づくり事業	JUON NETWORK かがわ会(1件)	69,860	市民の間伐・鋸作業等の林業体験
森林環境学習事業	NPO法人フォレストアーツ かがわ 香川県建築士会(2件)	200,000	保育所・小学校での環境学習の出前授業(7か所)
香川のみどりづくりイベント事業	香川県木材需要拡大協議会(1件)	200,000	木工工作教室の開催
みどりの広場づくり事業	川西地区地域づくり推進協議会、川原自治会(2件)	140,000	ミニ森林公園整備、公共用地(なかよし通り)の環境整備・花木植栽
計	16件	2,195,952	

(3) 公益社団法人国土緑化推進機構への交付金

公益社団法人国土緑化推進機構が行う広域的及び国際的な森林整備等を支援するため、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律第18条1項に基づき、緑の募金による寄附金の一部(479,000円)を同機構に交付した。

令和3年「緑の募金」交付金算定式

$$11,459 \text{ 千円 (令和3年募金額 1月～12月)} \times 2\% + 250,000 \text{ 円} \approx 479,000 \text{ 円}$$